

# 平成23年度(第8期)事業計画 主な項目



平成23年3月  
東京地下鉄株式会社

## サービス向上等に関する中長期の方針

## 平成23年度事業計画の主な項目

鉄道事業	東西線	・東西線の混雑緩和、遅延防止を図ります。	▶ 南砂町駅：関係機関との調整、用地協議の開始 ▶ ワイドドア車両：7編成70両を導入(13編成130両更新完了) ▶ 茅場町駅・門前仲町駅：掘削等の土木工事の実施	P.3
	有楽町線 ・副都心線	・有楽町線・副都心線の輸送安定化を図ります。	▶ 小竹向原～千川駅間連絡線設置：掘削等の土木工事の実施 ▶ 豊洲駅：軌道工事・各種駅設備の改良工事の実施	P.5
	銀座線	・銀座駅ほか各駅のリニューアルなどにより、銀座線のリフレッシュを図ります。	▶ 渋谷駅の移設・大改良：杭打ち等の土木工事の実施	P.7
	ホームドア	・すべての路線へのホームドア設置により、安全性向上を図ります。	▶ 有楽町線：残り15駅への設置を推進 ▶ 銀座線：ホームの補強、柱移設等に係る調査等を実施	P.8
	バリアフリー	・できる限り速やかにエレベーター1ルート整備率100%を達成するとともに、2ルート目も整備推進します。 ・多機能トイレの整備・エスカレーターを設置により、利便性向上を図ります。	▶ エレベーター：9駅完成・平成23年度末整備率73% ▶ 多機能トイレ：7駅完成・平成23年度末整備率89%※ <small>※車椅子対応トイレを含む</small>	P.9
その他	駅サービス	・駅改装、駅における様々なサービスの充実により、駅空間の快適性・利便性向上を図ります。	▶ 駅改装：2駅完成 ▶ その他：新規定期券も購入できる自動券売機の設置、床面サインの導入等	P.11
	新型車両・ダイヤ	・新型車両の導入により、快適性向上・環境負荷低減を図ります。 ・夕夜間等の列車増発により、利便性向上・混雑緩和を図ります。	▶ 銀座線：1000系車両1編成6両を導入 ▶ 千代田線：16000系車両9編成90両を導入 ▶ 半蔵門線・南北線：夕夜間等の増発	P.13
	保育所の展開	・保育所の展開により、沿線のお客様の子育てを応援します。	▶ 保育所運営事業者と連携し、東西線高架下(原木中山駅周辺)での保育所の展開	P.15
関連事業	・鉄道事業とのシナジー効果の発揮を基本とした積極的な事業展開を行います。	▶ 鉄道事業と関連事業の両面で活用できる不動産の取得 ▶ 「Echika fit 永田町」、「Echika fit 銀座」の開発	P.17	

# 鉄道事業

これまで以上にお客様から選ばれる鉄道会社を目指し、「サービス向上主要プロジェクト」<sup>※</sup>の確実な実行をはじめとした鉄道サービスの質的向上に取り組んでいきます。

※今後10年程度を見据え、混雑緩和、輸送改善、バリアフリー設備整備、ホームドア設置等の方針について取りまとめたプロジェクト(平成22年11月発表)

- ・南砂町駅の大改良(大規模掘削を伴う線路・ホーム増設)
- ・ワイドドア車両の導入

**T** 南砂町駅改良イメージ

**【線路・ホーム増設】**

同一方向の列車が交互に発着することにより、遅延の防止を図ります。

**【ワイドドア車両の導入】**

ドア幅が広い新型車両を導入することにより、お客様の乗降をスムーズにします。

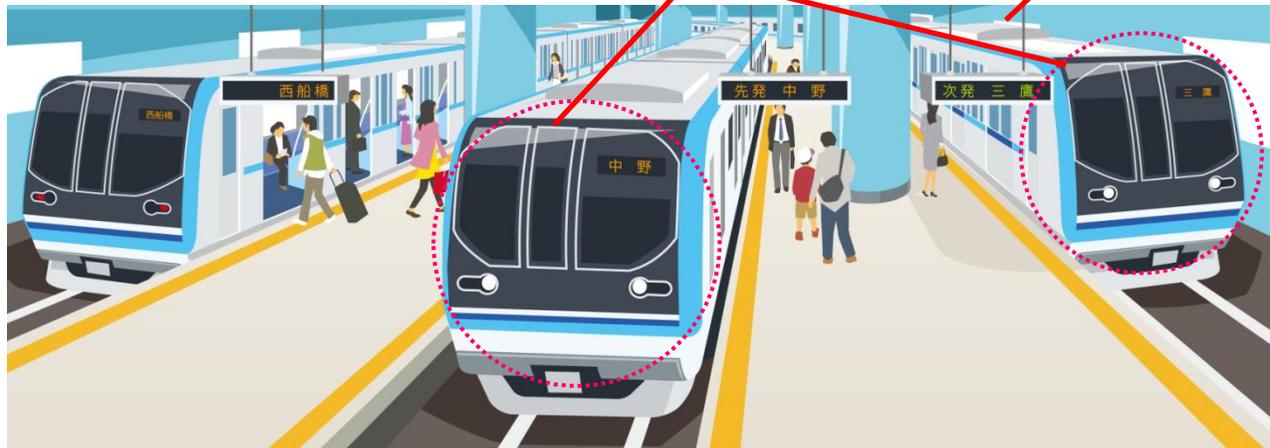
＜平成23年度の取組み＞

・南砂町駅：関係機関との調整、用地協議を開始します。

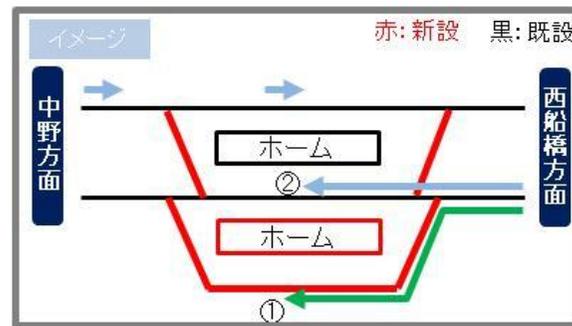
【完成予定年度：平成30年度以降】

・ワイドドア車両：15000系7編成70両を導入します。

【平成23年度までに13編成130両更新完了】



線路・ホーム増設



**【南砂町駅改良計画の概要】**(総額約300億円)

南砂町駅構内について、大規模掘削により線路及びホームを増設することで、同一方向に進む列車がホームの両側に交互に発着することが可能となり、十分な停車時間を確保することで、混雑緩和及び遅延防止を図ります。

- ・茅場町駅の改良(ホームの延伸等)
- ・門前仲町駅の改良(ホームの拡幅)

**T** 茅場町駅改良イメージ

**H** 日比谷線

コンコース・日比谷線ホーム拡幅

中目黒方面

北千住方面

階段・エスカレーター新設

西船橋方面

中野方面

停車位置変更

**T** 東西線  
東西線ホーム40m延伸

## &lt;平成23年度の取組み&gt;

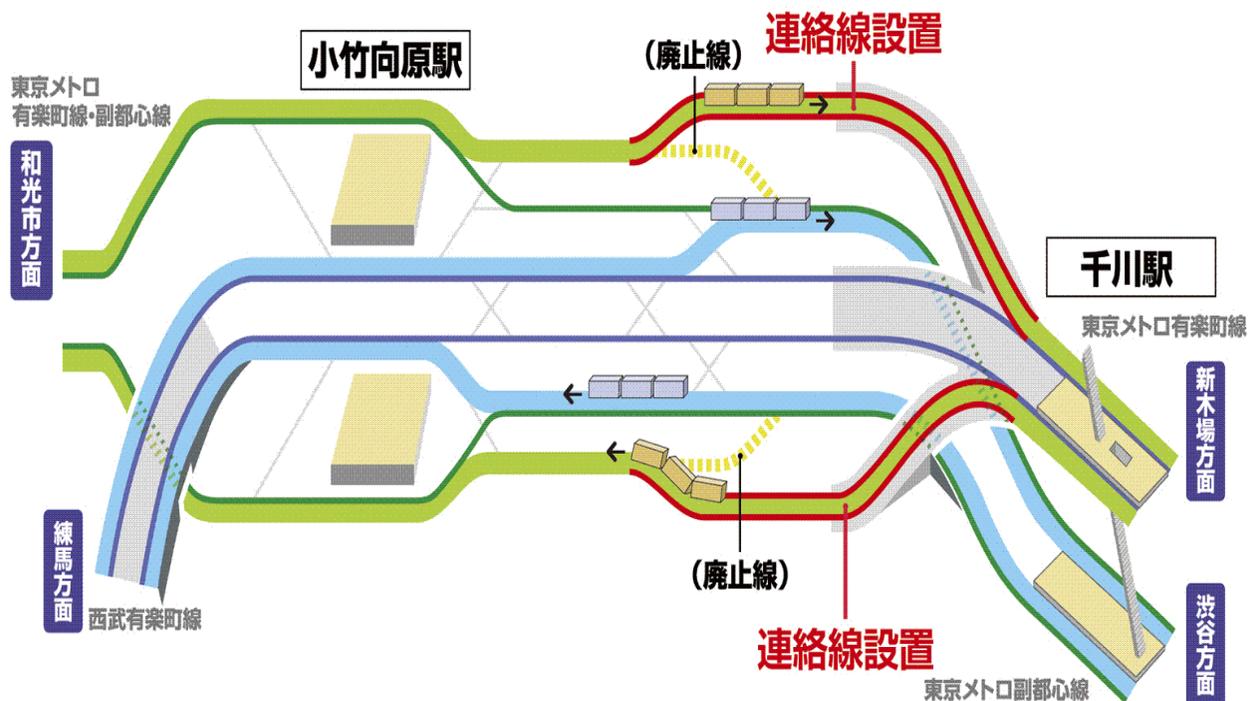
- ・茅場町駅:ホーム延伸・拡幅のため、埋設物の移設、掘削等の土木工事を行います。  
【完成予定年度:平成28年度】
- ・門前仲町駅:ホーム拡幅のため、掘削等の土木工事を行います。  
【完成予定年度:平成25年度】

**【茅場町駅改良計画の概要】**(総額約100億円)

茅場町駅は日比谷線への乗換部分が東西線のホーム端となっており、乗換えのお客様が集中するため階段付近が大変混雑している状況です。このため、ホーム位置を西船橋方面に40m延伸し、中野方面の列車のみ停車位置を変更します。また、階段・エスカレーターを新設するとともに、日比谷線ホーム(中目黒方面)の拡幅も行うことで、東西線から日比谷線への乗換をスムーズにし、東西線のホーム上の混雑緩和、乗降時間の短縮を図ります。

## ・小竹向原～千川駅間の連絡線設置による立体交差化

Y F 小竹向原～千川駅間連絡線設置イメージ



## &lt;平成23年度の取組み&gt;

・既存構築の改造、連絡線用の構築増設・シールドトンネル建設のため、掘削等の土木工事を行います。

## 【完成予定年度】

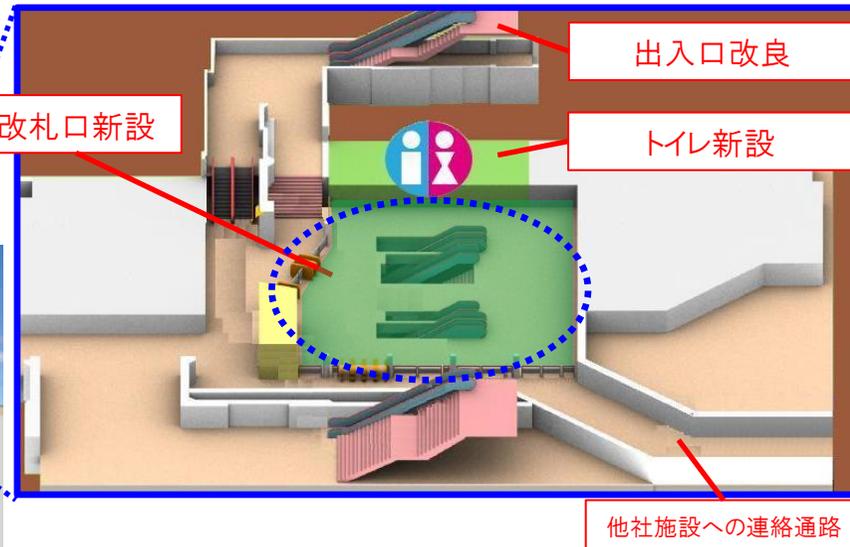
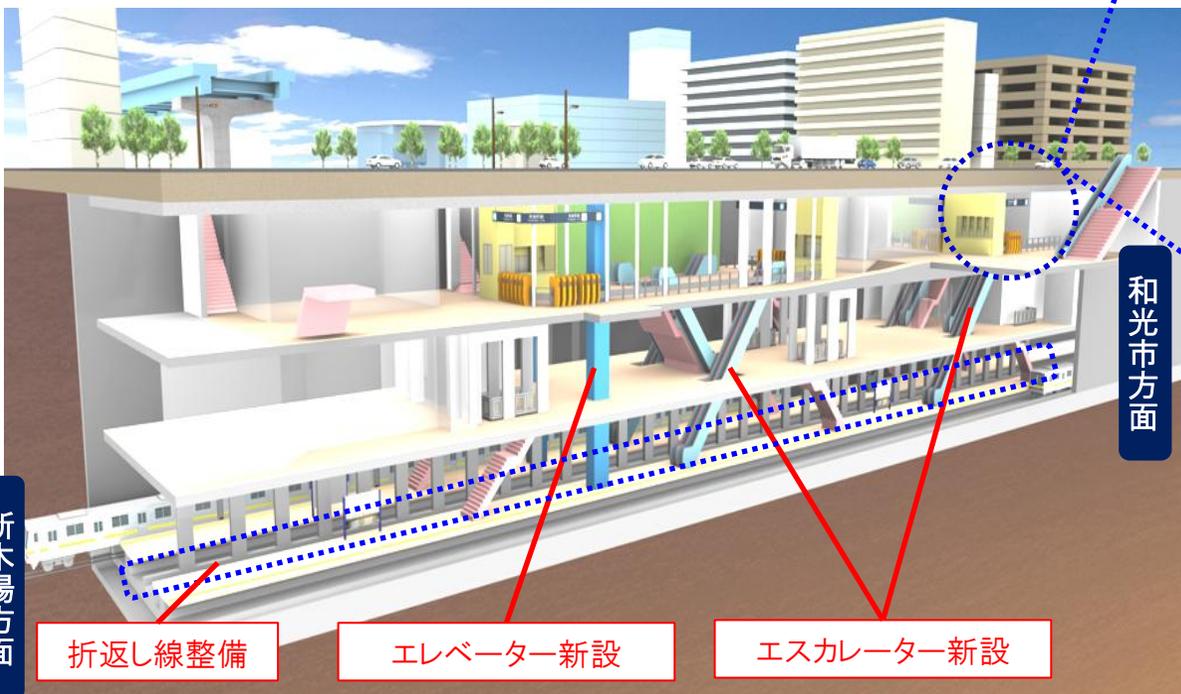
小竹向原駅から千川駅方面：平成24年度  
千川駅から小竹向原駅方面：平成26年度

## 【計画の概要】(総額約200億円)

小竹向原駅～千川駅間は、練馬方面または和光市方面から、新木場方面、渋谷方面それぞれに向かう列車が、地下トンネル内で平面交差する複雑な構造となっており、遅延や輸送障害が発生した場合には、平面交差部分で他方の列車を通過待ちする等の支障が生じています。このため、新たに連絡線を新設し、地下トンネル内を立体交差化することで、遅延発生時の縮小、輸送障害時におけるダイヤの早期回復等、輸送の安定化を図ります。

・豊洲駅の大改良(折返し線整備、駅周辺再開発等に伴う混雑緩和に向けた改札口の新設等)

Y 豊洲駅大改良イメージ



＜平成23年度の取組み＞

- ・折返し線整備：分岐器の撤去・新設などの軌道工事を行います。
- ・駅改良：改札口新設など各種駅設備の改良工事を行います。

【完成予定年度：平成25年度】

【計画の概要】(総額約60億円)

折返し線整備については、豊洲駅内側のホームを折返し線として活用できるように分岐器の交換等を行います。

駅改良については、改札口・トイレの新設、出入口の改良のほか、ホームから改札階まで直通するエレベーター・エスカレーターの設置等を行います。

銀座駅ほか各駅のリニューアルなどにより、銀座線のリフレッシュを図ります。

・渋谷駅の移設・大改良(ホーム移設・拡幅、バリアフリー設備整備等)

G 渋谷駅移設イメージ

移設後の平面図イメージ



<平成23年度の取組み>

- ・既設構築撤去、杭打ち等の土木工事を行います。

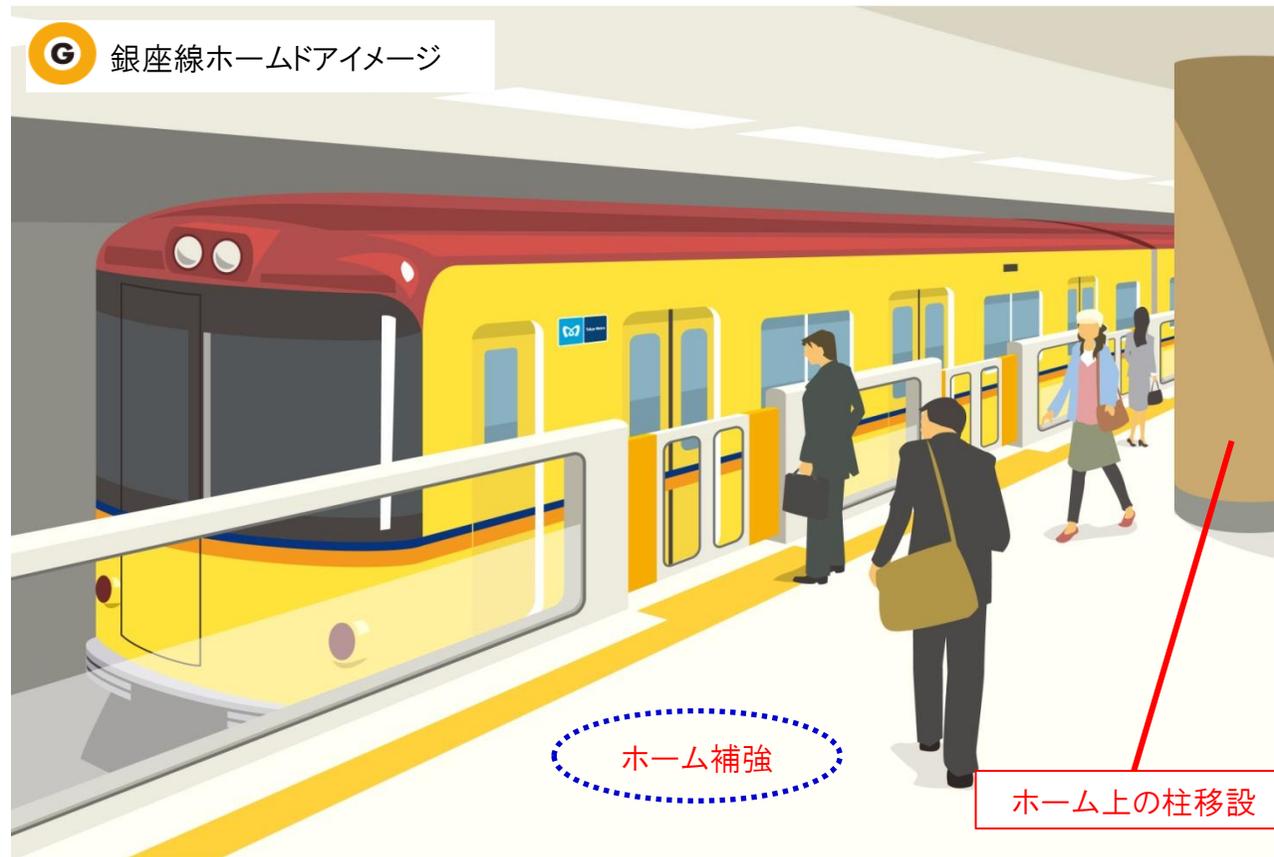
【完成予定年度：平成33年度】



G 渋谷駅ホームイメージ

【計画の概要】  
 当社副都心線と東急東横線の相互直通運転を契機に、渋谷駅周辺の交通結節点機能の強化を図るため、渋谷駅の機能更新と再編、駅ビルの再開発と一体的に都市基盤施設の整備が行われます。その一環として、銀座線渋谷駅を移設する工事を行い、ホーム拡幅による混雑緩和、乗換えコンコース接続による利便性向上、バリアフリー設備整備を図ります。

- ・有楽町線への設置を進めるとともに、新たに銀座線への設置に向けた各種調査を実施
- ・他の路線についても相互直通他社と協議の上、設置を推進

**G** 銀座線ホームドアイメージ


## &lt;平成23年度の取組み&gt;

・有楽町線：残り15駅へのホームドア設置を推進します。

【完成予定年度：平成24年度】

・銀座線：ホームが狭隘な駅について、①ホームの拡幅・補強、②ホーム上の柱移設等に係る調査等を実施します。

【平成28年度以降、各駅で順次供用開始予定】

## 【現在の導入状況(平成22年度末)】

丸ノ内線(全28駅)、千代田線(2駅)、有楽町線(9駅)、  
南北線(全19駅)、副都心線(全11駅)

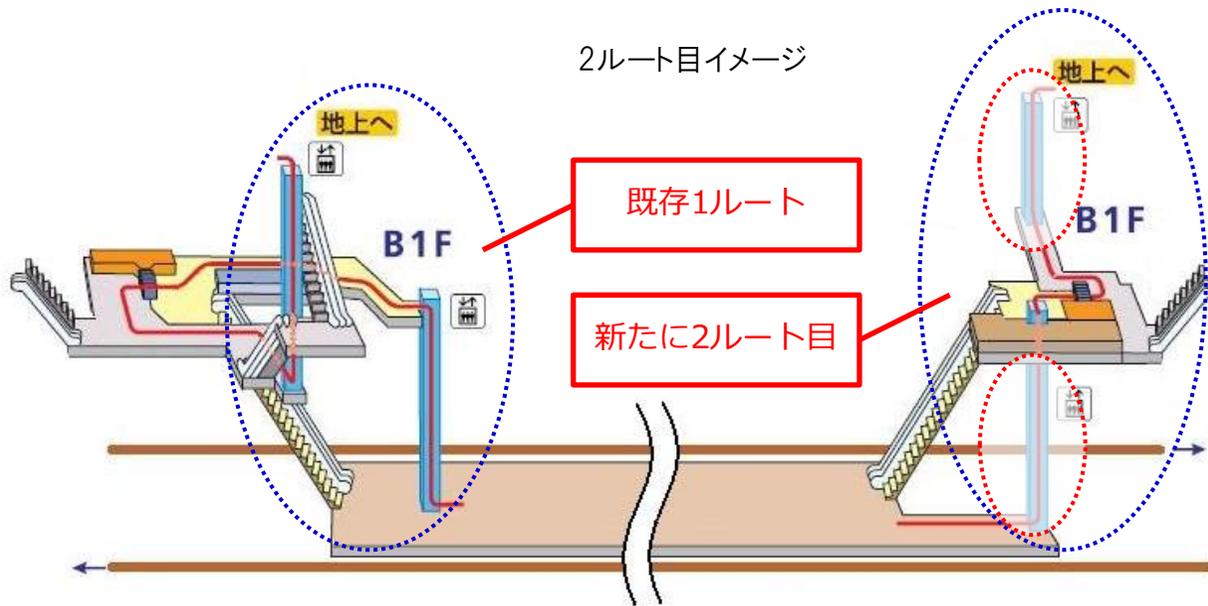
## 【ホームドア整備率】

平成22年度末 69駅・39%  
平成24年度末 84駅・47%

## 【計画の概要】

当社では、ホームから線路内への転落事故や、ホームにおける列車との接触事故を防止するため、鉄道他社に先駆けて平成3年の南北線開業時からホームドアを設置しています。今後は、他の路線へのホームドアの設置に向け、相互直通他社と協議の上、ホームドアを設置していきます。

- ・エレベーターの1ルート整備率100%に向け、積極的な用地取得等により、整備を推進
- ・お客様の利便性向上のため、2ルート目のエレベーター設置を推進



### ＜平成23年度の取組み＞

・現在施工中の22駅に加え、新たに9駅で着手します。このうち、9駅で1ルートが完成します。

施工中 : 田原町駅・京橋駅・銀座駅・溜池山王駅・淡路町駅・中野坂上駅・東高円寺駅・新高円寺駅・中野新橋駅・小伝馬町駅・三ノ輪駅・飯田橋駅・茅場町駅・門前仲町駅・千駄木駅・新御茶ノ水駅・辰巳駅・桜田門駅・有楽町駅・氷川台駅・青山一丁目駅・赤羽岩淵駅

新規着手 : 方南町駅・落合駅・綾瀬駅他6駅  
(赤字は平成23年度に完成する駅)

### 【エレベーター1ルート整備率】

平成22年度末 91駅/137駅・66%

平成23年度末 100駅/137駅・73%

(バリアフリー法に基づき、複数の路線が乗り入れる駅は、1つの駅として計上)

### 【エレベーターの整備について】

当社には古い路線が多く、また同時に東京都心部に位置することから、営業線への新たなエレベーターの設置のためには、用地や構造上の厳しい制約を克服していく必要があります。このような中でも、エレベーターの設置に当たっては、周辺の再開発動向を常に把握しつつ、事業者と連携して出入口を設置、個人の協力を得た上での合築による出入口の整備、駅隣接の変電所移設による設置スペース確保といった工夫を行ってきました。今後さらに積極的な用地取得、施工のスピードアップにより、今後10年以内で1ルート整備率100%を目指し、整備促進を図ります。

- ・多機能トイレ整備率100%※に向け、整備を推進
- ・お客様の利便性向上のため、乗換えルートを含めエスカレーターの設置を推進



＜平成23年度の取組み＞

・多機能トイレについては、現在施工中の4駅に加え、新たに4駅で着手します。このうち、7駅が完成します。

施工中 : 中野坂上駅・新高円寺駅・南行徳駅・半蔵門駅  
 新規着手: 御茶ノ水駅・葛西駅・北綾瀬駅・辰巳駅  
 (赤字は平成23年度に完成する駅)

【多機能トイレ整備率※】

平成22年度末 118駅/137駅・86%

平成23年度末 122駅/137駅・89%

(バリアフリー法に基づき、複数の路線が乗り入れる駅は、1つの駅として計上)

・エスカレーターについては、3駅で12基の設置が完了します。

【エスカレーター設置基数】

平成22年度末 145駅・958基

平成23年度末 145駅・970基

【多機能トイレの整備について】

今後10年以内で多機能トイレ整備率100%※を目指し、整備促進を図ります。

※車椅子対応トイレを含む

T 南行徳駅イメージ

自然光の透過性が高い膜屋根

太陽光発電パネル

LEDを用いたサインシステム

パウダーコーナー

※写真はイメージ

※写真はイメージ

<平成23年度の取組み>

・現在施工中の4駅に加え、新たに3駅で着手します。このうち、2駅が完成します。

施工中：赤坂見附駅・浦安駅・南行徳駅・恵比寿駅  
新規着手：大手町駅・中野新橋駅・西船橋駅

(赤字は平成23年度に完成する駅)

・なお、南行徳駅及び浦安駅では、環境への取組みとして、太陽光発電パネル・自然光の透過性が高い膜屋根を設置します。

※九段下駅の改装など、お客様の利便性向上のため、都営地下鉄とのサービスの一体化について協議の上、推進します。(P21・参考2)

駅改装、駅における様々なサービスの充実により、  
駅空間の快適性・利便性向上を図ります。



駅イメージ

13:30 GINZA 13:25 TOKYO

**【床面サイン】**  
・乗換案内等を示す床面サインを導入

**【改札ロディスプレイ】**  
・他社も含め遅延、事故等の運行情報等を全駅※で提供

**千代田線**  
▲ダイヤ乱れ  
原因 車両点検

**Chiyoda line**  
status Delay  
cause Accident



JR	都営地下鉄	東急	東武	京成
山手線	丸の内線	有楽町線	東上線	成田線
中央線	丸の内線	有楽町線	東上線	成田線
丸の内線	丸の内線	有楽町線	東上線	成田線
丸の内線	丸の内線	有楽町線	東上線	成田線

**【定期券発売】**  
・継続定期券に加え、新規定期券も購入できる自動券売機を全駅※に設置  
・使用可能なクレジットカードを拡大

**【ご案内アプリ】**  
・路線図・駅構内図等の各種情報を提供するスマートフォン用アプリケーションを開発



**【ご案内冊子】**  
・バリアフリー便利帳などのご案内冊子のリニューアル



**【サービスマネージャー】**  
・タブレット型端末を活用し、駅周辺の情報、外国語通訳サービスを提供  
(配置駅14駅)



※共同使用委託駅(他社と共同で使用している駅のうち、他社に管理運営を委託している駅)を除く。

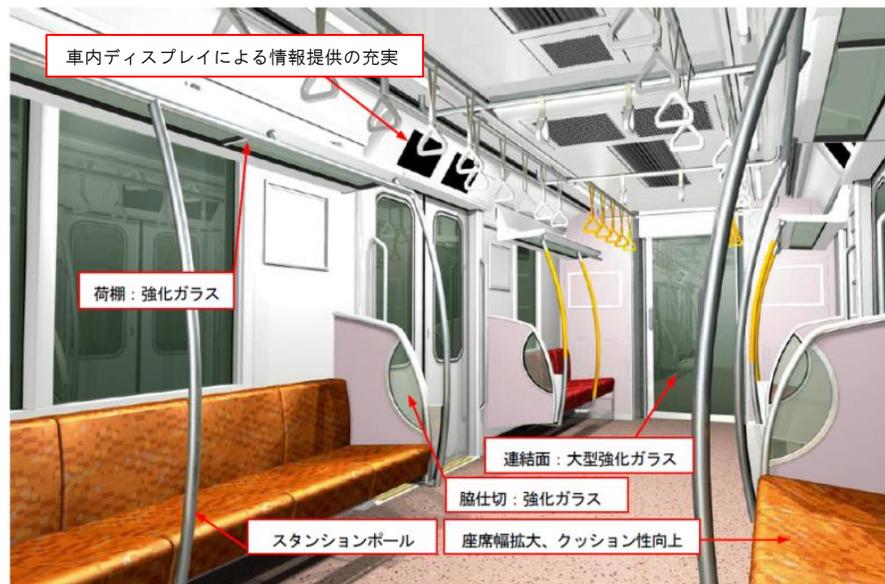
【地下トンネル内通信環境】社団法人移動通信基盤整備協会と連携し、地下トンネル内の携帯電話の通信環境整備を推進します。

・新型車両の導入により、快適性向上・環境負荷低減を図ります。  
・夕夜間等の列車増発により、利便性向上・混雑緩和を図ります。

**G** 銀座線  
1000系車両イメージ



**C** 千代田線  
16000系車両



永久磁石式同期型モータ  
(PMSM)

※銀座線1000系車両は  
約20%の消費電力削減

## <平成23年度の取組み>

・銀座線1000系車両1編成6両、千代田線16000系車両9編成90両を導入します。

・半蔵門線、南北線において、夕夜間等の増発などのダイヤ改正を行います。  
(電力供給の状況を見ながら、実施時期を検討します。)

### 【銀座線】

平成23年度末 全38編成中1編成更新

### 【千代田線】

平成23年度末 全36編成中14編成更新

**G** 銀座線  
1000系車内イメージ

保育所イメージ



<平成23年度の取組み>

・保育所運営事業者と連携し、東西線高架下(原木中山駅周辺)で保育所の展開を図ります。

【既存施設】

行徳駅周辺・西葛西駅の2か所にて展開

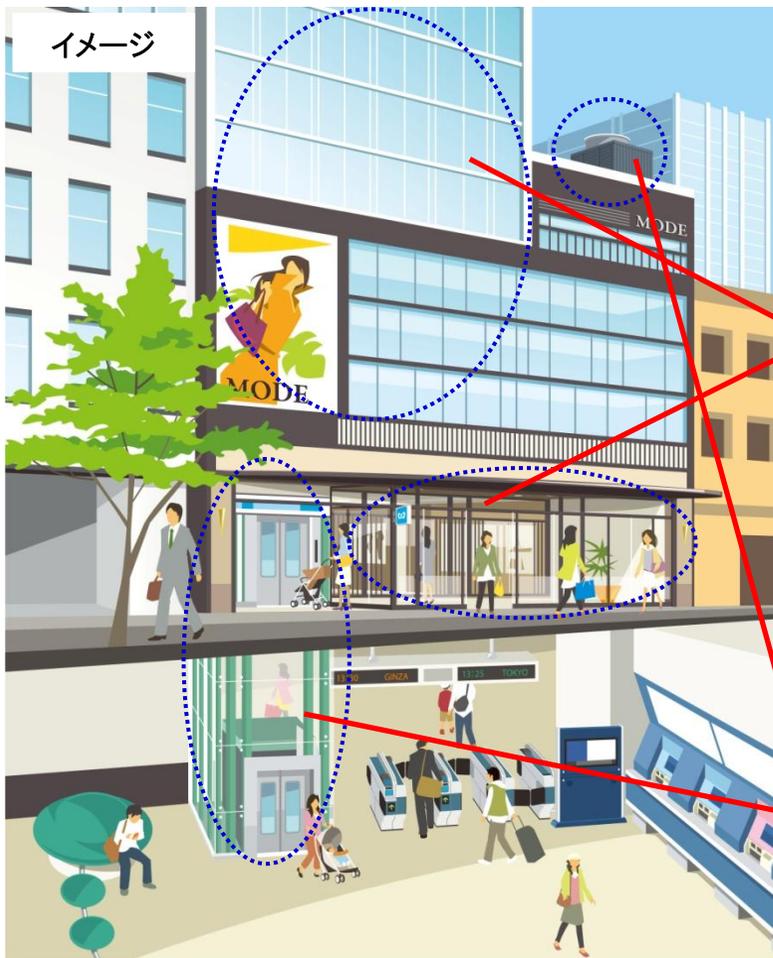


# 関連事業

鉄道事業とのシナジー効果の発揮を基本とした積極的な事業展開を行います。

○不動産事業

・バリアフリー設備の整備が困難な駅を中心に、鉄道事業と関連事業の両面で活用できる不動産を取得し、事業規模を拡大



関連事業の展開  
(店舗・オフィス)

エレベーターの設置、  
駅冷房のための冷却  
設備の設置

<平成23年度の取組み>

・鉄道事業と関連事業の両面で活用できる不動産を取得します。

【鉄道事業における活用例】

- ①エレベーターなどバリアフリー設備の整備
- ②駅冷房化の推進
- ③旅客流動の改善 等

・四谷三丁目用地等の保有資産の開発を推進します。

## ○流通事業

・「Echika fit」、「Metro pia」を開発

Echika fit 銀座イメージ



Echika fit 永田町イメージ



※「Echika」既存施設として、「Echika表参道」、「Echika池袋」、「Echika fit 上野」を展開  
 (店舗面積:Echika表参道 約1,300㎡・Echika池袋 約1,400㎡・Echika fit 上野 約430㎡)

### <平成23年度の取組み>

・「Echika fit 永田町」、「Echika fit 銀座」を開発します。

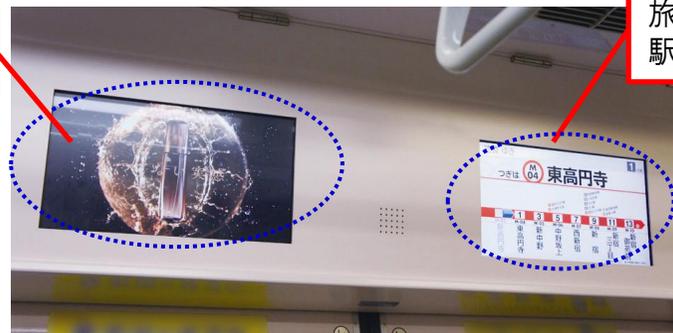
店舗面積：Echika fit 永田町 約400㎡  
 Echika fit 銀座 約270㎡

・高架下店舗「アコルデ代々木上原」の2期開業を行います。

## ○広告・IT事業

・車内ディスプレイを順次導入し、車内デジタル広告「Tokyo Metro Vision」を展開

車内デジタル広告



旅客案内情報(乗換案内・駅設備案内等)を表示

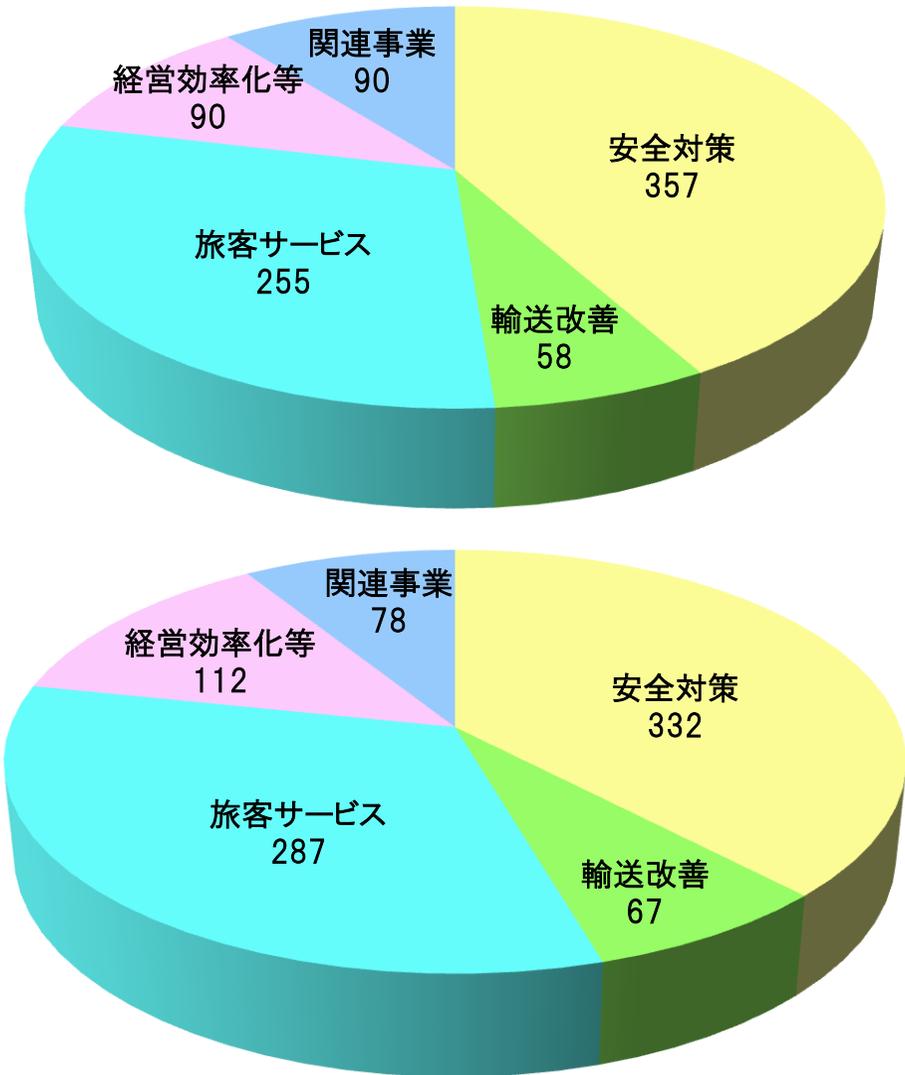
### <平成23年度の取組み>

・銀座線1編成、丸ノ内線5編成、東西線7編成、千代田線9編成、半蔵門線2編成に導入します。

#### 【車内デジタル広告導入率】

平成22年度末 53編成・16%  
 平成23年度末 77編成・23%

# 平成23年度設備投資予算の概要(平成22年度見込との比較)



(単位: 億円)

22年度見込  
851億円

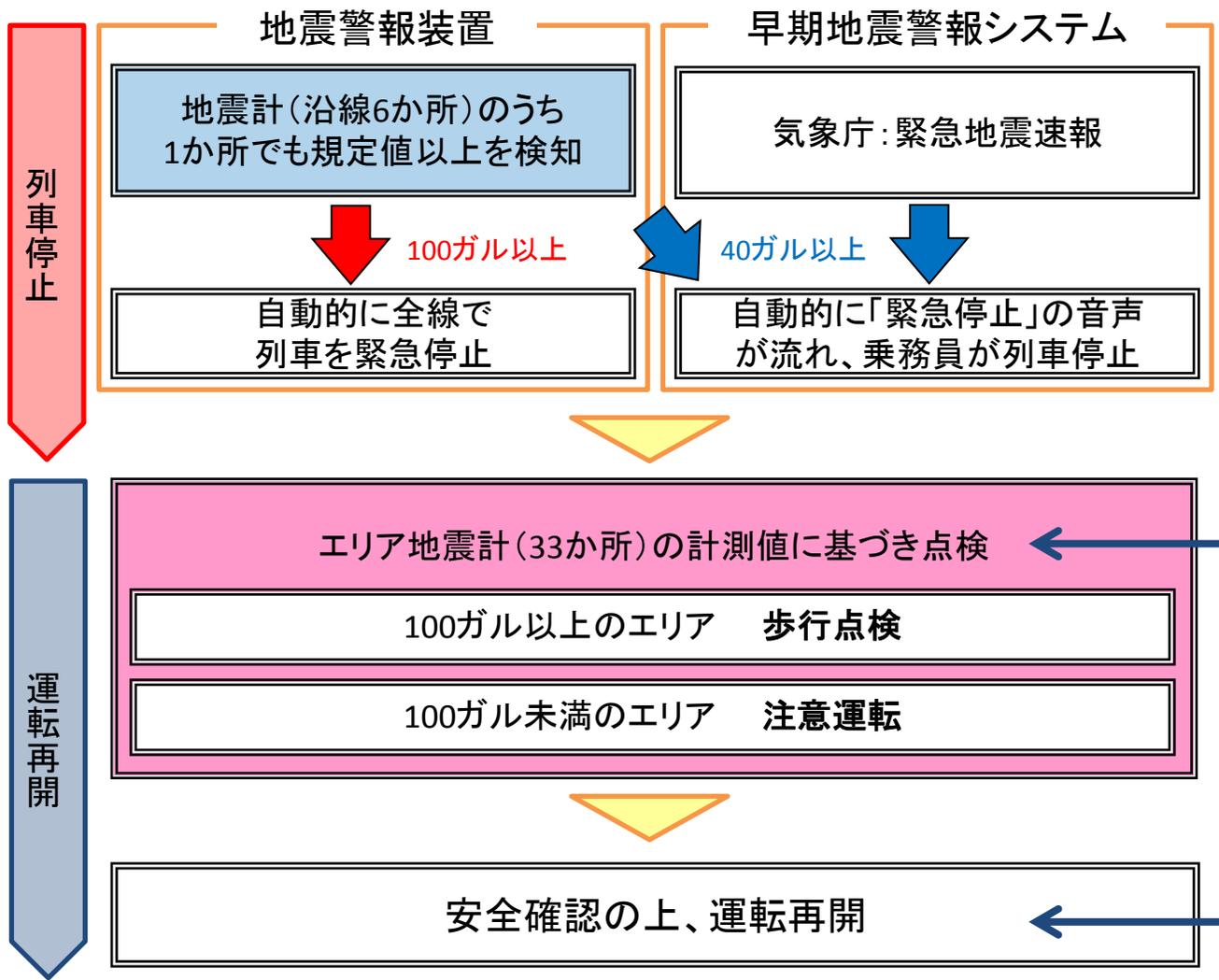


23年度予算  
878億円

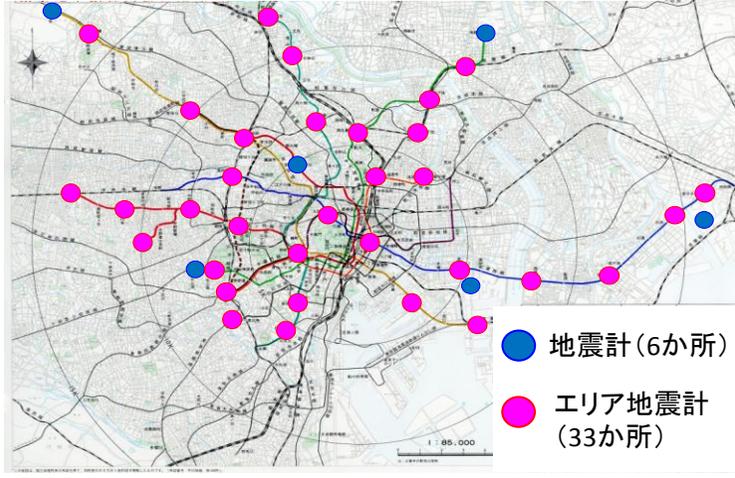
(単位: 億円)

項目	23年度予算
安全対策	332
保安度向上	111
火災対策	20
車両更新	163
ホームドア設置	29
新CS-ATC化	7
輸送改善	67
旅客サービス	287
バリアフリー整備	150
駅空間整備	56
改札周辺利便向上	27
その他	52
経営効率化等	112
関連事業	78
流通事業	18
不動産事業	59
合計	878

【参考1】 地震警報装置、早期地震警報システムの活用により、  
輸送の安全確保・早期の運転再開に努めています。



当社沿線の地震計・エリア地震計設置箇所



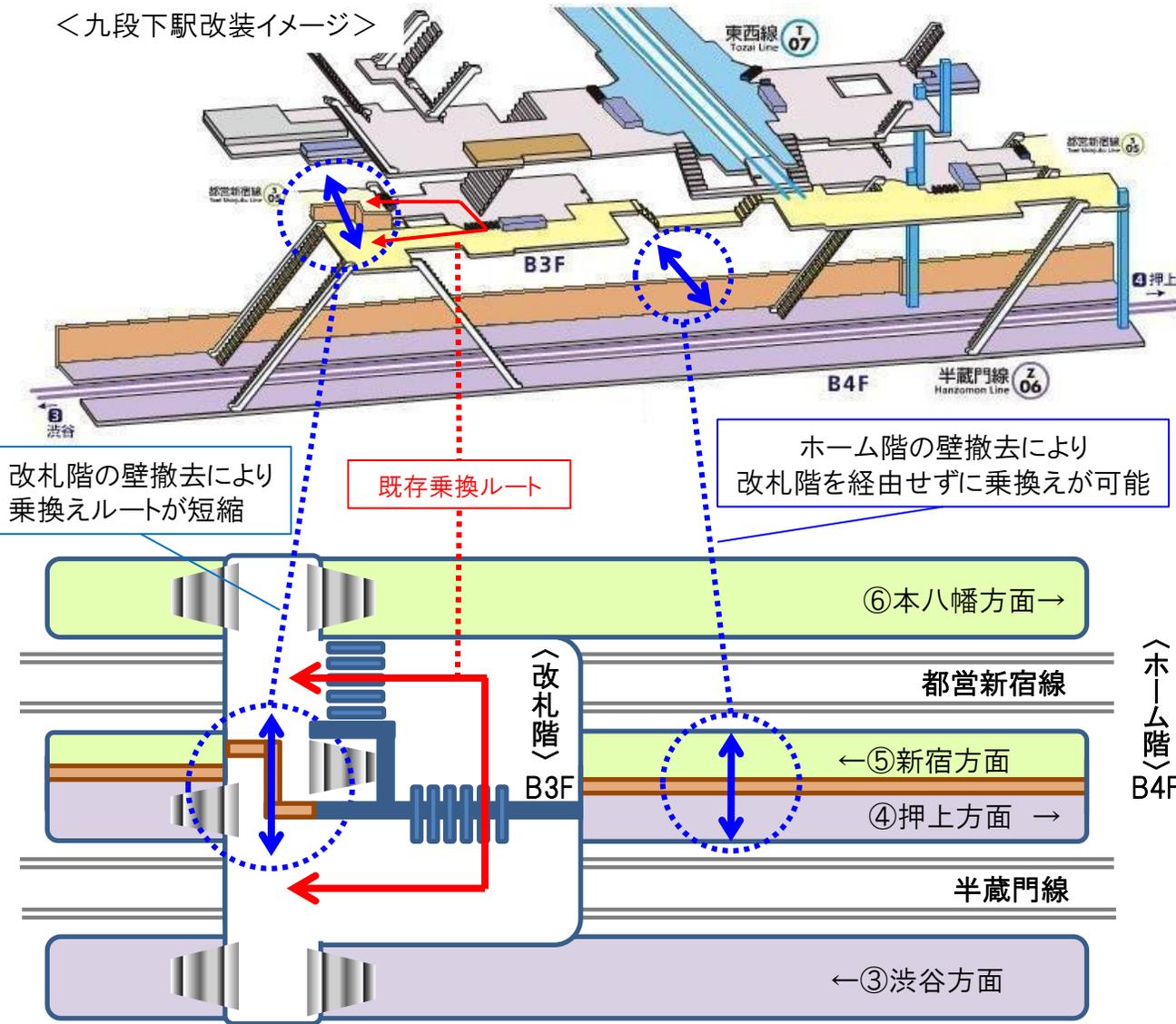
指示

運輸指令、車両指令、電力指令、施設指令、情報指令の5指令をワンフロアに配置し、一元的な輸送管理を行っています。

※当社では、平成7年1月の阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、これまでもトンネル・高架橋等について耐震補強工事を実施し、構造物の耐震性の向上を図ってきましたが、各種取り組みの点検・改善を行うことにより、引き続き、安全性の向上に努めます。

# 【参考2】 都営地下鉄とのサービスの一体化について協議の上、推進することで、お客様の利便性向上を図ります。

＜九段下駅改装イメージ＞



＜平成23年度の取組み＞

都営地下鉄と以下の事項について、協議の上推進します。

- ・九段下駅の乗換利便性向上に向けて、壁の撤去工事に着手します。
- ・その他、改札通過サービス等の乗換改善方策について、検討します。
- ・運賃の乗換負担軽減策として、通算運賃制度や乗継割引の拡大等について具体的な検討を行い、平成23年夏までに結論を取りまとめます。

注：本資料に記載の投資額・完成年度等については、今後の関係各所との協議等により変更となる可能性があります。

